

資料配付の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 17 年 1 月 14 日同時配布

平成 17 年 1 月 14 日  
国 土 交 通 省  
国土技術政策総合研究所

～ ヒートアイランド対策に係る技術開発研究の推進～

国土交通省総合技術開発プロジェクト  
「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発」  
検討会（第 1 回）の開催について

1. 趣旨・目的

ヒートアイランド現象は、大都市中心部等において観測される新しい都市の環境問題の一つとして、緊急に対策を講ずるべき課題となっている。

ヒートアイランド現象は、気温上昇の要因となる地表面被覆と人工排熱、地形・気象条件等が相互に影響しあうなどメカニズムが複雑で未解明な部分が多く、科学的知見が十分に得られていない状況にある。

このような状況を踏まえ、今後のヒートアイランド対策が効果的に実施できるように、その科学的裏付けとなる現象解明と対策の定量的評価手法等の開発を行うため、国土交通省総合技術開発プロジェクト（「都市空間の熱環境評価・対策技術の開発」）を平成 16 年度から 3 年間で実施することとしている。

この研究開発では、おおむね 2 年後を目途にヒートアイランド対策の効果を総合的に評価することのできるプログラムを開発し、地方公共団体等に提供することを目標にしている。

研究開発を進めるにあたっては、研究開発成果を広く行政施策や民間等の取組みに反映させる観点から、産学官の幅広い知見を活かして進めることとし、学識経験者からの助言を得る場として、検討会を設置するものである。

2. 技術開発事項

本プロジェクトは、様々なヒートアイランド対策の効果を評価可能なシミュレーション技術を開発し、シミュレーションに基づいたヒートアイランド対策の目標水準の設定手法や、地域の特性に配慮した効果的な対策を推進するための都市空間の

形成手法を開発するものであり、主な技術開発事項は以下の通りである。

- ( 1 ) 都市空間の各種ヒートアイランド対策の定量的評価手法の開発
- ( 2 ) 地理情報の高度化・活用技術の開発
- ( 3 ) 総合的なヒートアイランド対策評価のためのシミュレーション技術の開発
- ( 4 ) 効果的なヒートアイランド対策に寄与する都市空間の形成手法の開発

### 3. 検討会

研究開発に取り組むにあたって、学識経験者からの助言を得るために、下記メンバーによる検討会を設置する。検討会の事務的作業は(財)国土技術研究センターに委託して実施する。

座 長	尾島 俊雄	早稲田大学理工学部教授
	花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授
	梅干野 晁	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
	丸田 頼一	千葉大学名誉教授
	三上 岳彦	東京都立大学大学院理学研究科教授

(五十音順、敬称略)

事務局 国土技術政策総合研究所、国土地理院、独立行政法人建築研究所

なお検討会には、国土交通省本省関係課、気象庁、環境省、東京都等も参画する。

### 4. 検討会のスケジュール

第1回検討会は1月19日(水)18時15分より中央合同庁舎第2号館低層棟「共用会議室3A・B」にて開催する(会場案内図は別紙)。その後、本プロジェクトの最終年度の18年度まで、年間2回程度開催する。

### 5. 検討会の公開について

検討会は公開とする。(カメラ撮りは検討会の冒頭のみとさせていただきますので、予めご了承ください。)

問い合わせ先：

国土交通省国土技術政策総合研究所 都市研究部 主任研究官 鍵屋 浩司  
Tel 029-864-4065 (ダイヤルイン)

(別紙)

